

令和7年度 第1学年経営案

【在籍数】男子57名、女子56名、計113名

【学年主任】早狩 朋子

《学年の実態》

入学からまだ日も浅く、幼い行動が多く見られる。今は新しい友達を作ろうとする姿よりも廊下で同じ小学校の友達と過ごそうとする姿が多く目立つ。頑張ろうという思いはあるものの、言葉や態度でうまく表すことができず、周囲との間で困る場面も見られる。様々な場面で配慮を必要とする生徒も多く、集団生活においても様々な課題が懸念される。一方、明るく素直な面も見られるため、今後を期待できると考える。

1. 学年目標

- (1) 広い知性
学習規律を確立し、基礎学力を高め、自己の将来をしっかりと考える。
- (2) 豊かな心
自己を見つめ他者を認める力を養い、集団の中で高めあいながら、自ら考え成長する。
- (3) 健やかな身体
自他のためによく動き、よく笑い、心身の健康を心がけ、何事にも積極的に挑戦する。
- (4) 自立に向かう行動
今すべきことを自ら考え、自らが行動する。

2. 学年経営方針

- (1) 情報共有を大切にし、学年全教員の協力体制を意識した指導を心がける。
- (2) 生徒理解を重んじ、生徒との信頼関係を築きながらも、毅然とした姿勢で指導を行う。
- (3) 日々の授業を大切にし、家庭学習を促し、生徒の自己実現を支援する。
- (4) 保護者との信頼関係・協力体制を築くとともに、家庭と連携してひとりひとりを大切に育む。

3. 指導の重点

- ・ 授業規律の確立を目指し、安心して学習できる環境をつくる。
- ・ 家庭学習を推奨し、基礎・基本の定着を図る。
- ・ 学級指導の充実を図り、学校における生活習慣の基礎をつくる。
- ・ 教員相互の情報交換を密にし、生徒理解に努める。
- ・ 毅然とした姿勢で指導にあたり、善悪を正しく判断させる。
- ・ 挨拶、礼儀を重んじ、互いに認め合う心、感謝の心を育む。
- ・ リーダーを育成するとともに生徒主体の自治力を高める。
- ・ 自己をよく理解し、将来の進路についての関心を高め、進んで自己の進路を計画する生徒を育成する。

4. 経営方針の具体策

- ・ 学活、授業、集会、給食、清掃など、生徒と共に活動し、時間厳守の徹底を図る。
- ・ 問題行動を未然に防ぐために、日頃の生徒をよく観察する。
- ・ 身だしなみや自分の身の回りの学習環境の整備をきちんとさせる。また、違反物・不要物の持ち込みを見逃さず、指導する。
- ・ 朝の「おはようございます」、授業の「お願いします・ありがとうございました」、帰りの「さようなら」等、将来誰に対してもさわやかな対応ができるよう挨拶の励行を徹底する。
- ・ 授業規律を確立し、授業を大切にすることを意識させる。
- ・ 係・委員会・給食・清掃等学校生活の自分の役割をしっかりとやらせる。
- ・ 教室、学年フロアの環境整備を心がける。落書き、破壊・破損を見逃さない。
- ・ 朝読書や朝学習にきちんと取り組ませる。
- ・ 基礎学力充実のための時間を設定する。AI学習教材を活用した5教科に関するコンテンツの実施、長期休業中における補充教室の開催。
- ・ 学年教員全員が、全クラスの担任であるという意識をもつ。
- ・ 不正は絶対に許さないという厳しい姿勢を維持する。
- ・ 指導は複数で行うよう心懸け、適切な指導が行えるようにする。
- ・ 学年便りを通じて生徒の様子をお伝えし、学校・保護者間の連携の一助とする。